

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年01月25日

計画の名称	大和高田市流域関連公共下水道事業計画（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大和高田市												
計画の目標	未整備地域の下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,605	A	2,600	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.19	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H32末	H34
1	大和高田市全域の下水道処理人口普及率を、58%（H28）から64%（H34）に向上させる。			
	大和高田市全域の下水道処理人口普及率 （市全域の下水道処理区域人口（人）/市全域の行政人口（人））	59%	62%	64%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大和高田市	直接	大和高田市	管渠(汚水)	新設	大和川上流・宇陀川流域 下水道(第二処理区)汚水管渠	汚水管 200~350 L=16,000m	大和高田市						2,600		-
											小計						2,600		
											合計						2,600		

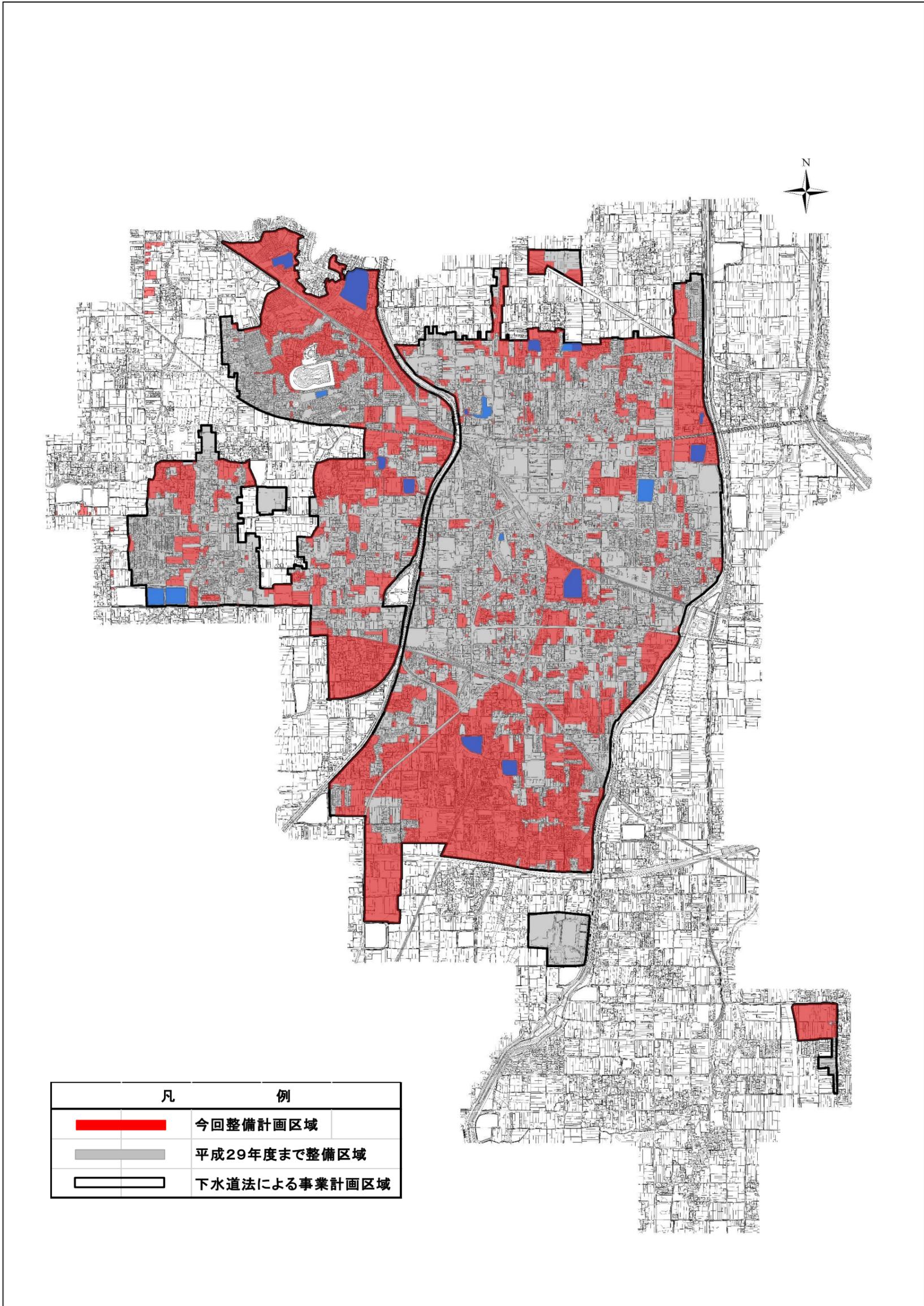
C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	大和高田 市	直接	大和高田市	管渠（ 汚水）	新設	大和高田市各戸排水設備 設置の助成	10,000円/戸×100戸/年×5年	大和高田市						5	-	
		水洗化率の向上																	
											小計						5		
											合計						5		

(参考様式3)

計画の名称	大和高田市流域関連公共下水道事業計画(重点計画)		
計画の期間	平成30年度～平成34年度(5年間)	交付対象	大和高田市

A-1 大和川上流・宇陀川流域下水道(第二処理区)汚水管渠
C-1 大和高田市各戸排水設備設置の助成



事前評価チェックシート

計画の名称： 大和高田市流域関連公共下水道事業計画（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 都道府県構想と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○

事前評価	チェック欄
II. 計画の効果・効率性 2) 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	
III. 計画の実現可能性 1) 計画に具体性があり、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 2) 計画について住民や関係機関等の中で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動、関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	
III. 計画の実現可能性 1) 住民等から事業実施の要望がある。	○